

東日本大震災の影響で中止された大会に代わり……  
**日科技連の本部・講堂をお借りして**  
 QCサークル関東支部主催「**運営事例選抜発表会**」開催！  
**第5295回**



平成23年7月に計画していたQCサークル関東支部主催第5295回「運営事例選抜大会」は3月11日に発生した東日本大震災の影響で、関東支部内の茨城はじめ、栃木、群馬などの地区での行事開催が困難となったため中止が決まりました。

11月22日開催の全国大会への代表選出を行うため、発表者と地区幹事などが参加し、9月7日（水）に第5295回《運営事例選抜発表会》を開催しました。

本発表会は一般聴講参加の募集はしませんでした。が、支部役員、審査委員、運営役員、発表者、発表企業聴講者、地区幹事など100余名が参加しました。

各地区から選抜された8サークルがエントリーし、元気に発表を行い、支部長賞金が4サークルに、支部長賞が4サークルに贈られました。

羽田表彰委員長の審査結果発表、記念撮影を行い、午後5時終了しました。

## 【1番目】《栃木地区》こだま サークル・JUKI株式会社 大田原工場



業務用ミシンなどで知られるJUKI(株)大田原工場“こだま”サークルさん、人事、窓口業務や社員の健康管理を男女7名のメンバーで業務を行っています。

安全靴の貸出業務の効率化に始まり、次第にサークル活動の輪が大きく育ち、またテーマリーダーが目指した間接業務の効率化を通じたQCサークル活動でメンバーのレベルアップ・人材育成を実現しました。

小さなことからコツコツと！」を合言葉に「5S」を基本として「CS＝顧客満足度の向上を目指し、明るく元気に「こだま」を返すコミュニケーション豊かなサークルでした。



羽田表彰委員長から表彰状と記念の盾を授与されました。

## 【2番目】《京浜地区》アルパトロスサークル・日野自動車 本社日野工場



トラックやバスの製品や工程の品質監査業務を担当するアルパトロスサークルさん、日頃からお客様を訪問し、生の声を聞いたり、法定資格の取得など自己スキルアップに励んでいます。

サークル員全員の共通の趣味がゴルフ、スコアの結果を番付表にして競い合い、飛距離をデータで管理・解析してみんなで楽しみながら活動を展開しました。

“人も品質も「心」を込めれば動き出す、アジアの中心で品質を叫ぶ”をキャッチフレーズに、壁を次々に超えた活動でした。



発表もスウイングして、良いテンポでしたね。

## 【3番目】《長野地区》K-II サークル・NTN株式会社 長野製作所



素晴らしいテンポの発表で見事“支部長賞金賞”を受賞。

身近なあらゆる製品にいくつも採用されているベアリングなど精密製品を造るK-IIサークルさんの職場はクリーンルーム内に組立ラインを設置し、検査まで自動化された自社開発設備で、高品質の製品を組立えています。

「目指せ“俺たちの”サークル甲子園！」と作業改善により廃棄率を低減するため、新任リーダーが苦勞しながらも次第に成長し、チームワークの良さを活かし、アイデア出しから実現に向けた活動、アップテンポの発表はご機嫌。吉本喜劇に引き抜かれるかも…。

## 【4番目】《茨城地区》ハナミズキサークル・ぺんてる 茨城工場



ボールペンやサインペンなど新製品開発型企业のぺんてる茨城工場で、ボールペンの製造をしているハナミズキサークルさん。

特にボールペンは毎年新製品が市場導入され、お客様の喜んだ顔を見られるように、1本1本思いを込めて生産する、明るく、楽しいサークル活動をモットーに改善活動に取り組み、初めは自信の無かったツヨシが指導員に“しっかりしなさい！”とハッパをかけられ、成長して行きます。

遂には班長に就任したツヨシがハナミズキの花言葉通り、次の世代にと恩返しをする活動となりました。

## 【5番目】《神奈川地区》グローリーサークル・日産車体 湘南工場



日産車4車種を生産するグローリーサークルさん、谷口新リーダーの音頭で、全員が一丸となって活気あふれるサークルに変身。

同じ職場のミステリーサークルが社長賞を受賞。部内でも勝つことが難しい状況の中、ミステリーサークルとの違いを研究、合同会合を提案してレベルアップに努めました。



元気の良いグローリーサークルの皆さんでした。

人材育成により部内大会を勝ち抜き、全社大会でも最優秀賞を受賞するなど、険しい山に挑むがごとく、テーマ「手に入れた最高の達成感！ライバル心が育てた成長の軌跡」を元気に発表しました。

## 【6番目】《京浜地区》クリーンサークル・日産自動車 横浜工場



日産自動車横浜工場の原動力となる電力などエネルギー供給部署として、稼動する設備から出てくるCO<sub>2</sub>抑制、廃水等処理して、地球環境を守っているのがクリーンサークル。

サークル員全員が揃う事が難しい4班3交代、会合を工夫したリレー会合で、職場の問題点の共有化、意思疎通が図りました。



発表も自信満々、ばっちり決まりましたね。

「会合の進化で地球環境を守る！！」すべては一人ひとりの意欲から始まるをキャッチフレーズに供給業界トップランナーを目指し、社内外にも目を向け活動をしていました。

## 【7番目】《神奈川地区》ほのぼののサークル・KYB株式会社 相模工場



KYBを支える“ほのぼののサークル”を紹介しました。

自動車から航空機、高度な油圧技術からエレクトロニクスまで、幅広い分野で産業の快適と安全を支える機器を製造するKYBのほのぼののサークルさん。

改善能力はかなり高いサークルながら改善箇所にいるいろいろこだわりを持つ24歳の若手から50歳のベテランが、一人一人の個性を活かし、それぞれの能力を発揮させようと改善に取り組んだこれからは楽しみのサークルさんでした。

低迷するQCサークル活動を活性化、飛躍を続けて工場大会で躍進、努力・努力の活動でした。

## 【8番目】《栃木地区》ホワイトサークル・日産自動車 栃木工場



当初3番目の発表予定が最後に回り有終の美を飾りました。

モノづくり世界一を目指している栃木工場で、2交替勤務で片班4名ずつ計8名のホワイトサークルさん。

「ありがたい姿への挑戦」をテーマに、ベテラン中心の活動から、11年度目標は「若手育成」若手を中心に班毎に小集団活動を行い、競い合いながら成果を挙げています。

アクスルユニットの組立て・供給をタイムリーに行うため、日頃から改善活動を展開、リアアクスル工程のレイアウト変更で、リア台車供給の効率化と確実性を実現するなど、ホワイトサークルの地道な取り組みが紹介されました。

# 《審査風景》と《審査結果発表》



真剣な表情で発表を聞く、審査委員の皆さん



最初に発表者並びに支援者のこれまでのご苦勞をねぎらい、今回の発表者の傾向、素晴らしかった点などを紹介しました。



審査結果発表する羽田審査委員長（関東支部世話人）。

これまでも度々指摘されたことですが、事前審査を行う際に配布される要旨集の文字が読み難いサークルがあったこと、要旨集原稿提出後の変更があったことなど、いくつかの苦言も呈されました。

# 《記念写真》と受付、図書即売コーナー



発表会終了後に行われた記念撮影では、皆さん、発表が終わってほっとしたのか、満面の笑顔ですね。

各事業所内での発表に始まり、地区大会での発表、そして今回とご苦労さまでした。

今回「支部長賞金賞」を受賞した4サークルさん、今年11月にビッグサイトで開催される全日本選抜大会でも、今度は全国に向けて関東支部のレベルを示すチャンスです。もう一度、頑張ってください。



贈られた記念の盾



日科技連出版社のコーナーも設けられ、QCサークル活動に役立つ新刊がたくさん用意され展示即売を行いました。

3月に発生した東日本大震災の余波を受け、開催が危ぶまれましたが、今回の開催にて、11月にビッグサイトで開催される《全日本選抜QCサークル大会》への関東支部代表・発表サークルを選抜することができました。

選ばれたサークルさん、頑張ってください。

